

令和5年度 第2回秦野市教科用図書採択検討委員会 会議録（要点筆記）

令和5年7月3日（月）

9：00～15：15

秦野市役所教育庁舎3階AB会議室

事務局 はじめに事務局よりあいさつを申し上げます。

事務局 おはようございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

本検討委員会でございますけれども、5月の教育委員会会議で議決されました、採択基本方針に従いまして、設置されました。5月の第1回検討委員会で、調査研究の進め方などについて協議をしていただきましたけれども、本日の第2回目につきましては、令和6年度に使用します、小学校の教科用図書の審議を中心とする内容となっております。ぜひ秦野の子どもたちたちのために、力添えをいただければと思います。

また本日いろいろなご意見等が出るかと思っておりますけれども、これはまとめさせていただきまして、次のステップとなります、教育委員会にて、教科用図書の件に仕上げたいと思っております。どうぞ本日はよろしく願いいたします。

事務局 それではただいまより、令和5年度第2回秦野市教科用図書採択検討委員会を開催します。委員長よりよろしくお願い致します。

委員長 おはようございます。土曜日は大雨が降り、日曜日は熱中症が心配されるほどの暑さとめまぐるしく天候が変化しております。みなさん体調はいかがでしょうか。本日は、暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。いよいよ来年度の小学校の教科書を採択ということで、山場を迎えることとなります。秦野市として、子どもたちによりよい教科書を自信をもって推薦できるよう、責任をもつとともにその重さを皆さんと感じつつ、与えられた役割を果たしていきたいと思っております。

本日の会議ですが、小学校中学校すべての教科、種目の教育用図書を検討していただくこととなりますけれども、本市の小中学校の生徒のために、多くの意見を出していただき、活発な協議をいたしたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

中学校につきましては第1回の採択検討委員会でも確認されましたけれども、本来は、1種目ごとにその種目が出されているすべての教科書の内容

を調査したものを報告し、質疑の後に協議をお願いすることですが、今年度は、令和2年度の採択の際に出された内容と変更はございません。

さらに、その内容については令和2年度の教育委員会会議にて慎重な検討を経た上で、採択されていることを踏まえて、現在使用されているものの継続、あるいは新たに採択する必要があるか、これを視点としていただきながら、種目をまとめて協議していただくことと考えています。

また小学校教科用図書の採択については、本日調査員の皆さんに来ていただいておりますので、調査研究の結果を聞き、その後に質疑、協議を行っていきたくて考えておりますので、ご協力お願いいたします。

お手元に資料はもう届いていると思います。

それでは本日の流れについて、事務局より説明願います。

事務局

ただいま9名の委員の皆様のご出席をいただいております。秦野市教科用図書採択検討委員会設置要綱第5条第2項の規定により過半数のご出席をいただいておりますので、会議は成立していることをご報告します。また、本日も秦野市PTA連絡協議会のご推薦を受けた保護者代表の方にもご出席をいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

次に資料の確認をさせていただきます。事前に資料をお届けさせていただきました。今年度奈、中地区3市2町の調査員が共同調査いたしました「小学校用教科用図書採択 調査研究の結果」でございます。

前者は中事務所管内の3市2町の中で調査員を集め、神奈川県調査資料を参考しながら、作成したものです。本日はこちらの資料を基に調査員が報告することになりますのでよろしくお願いいたします。

後者は、令和2年度に中学校の教科用図書を行った際の調査研究事業となります

事務局

第1回検討委員会の内容の確認をさせていただきます。

- ・ 秦野市教科用図書採択検討委員会設置要綱
- ・ 教科書の定義について
- ・ 神奈川県「令和6年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針」
- ・ 秦野市の教科用図書採択方針及び、令和元年度秦野採択地区教科用図書採択の流れ

等について確認いたしました。

また、今回の委員会も、前回と同様に非公開で行われますが、採択までの透明な手続きも求められていますので、情報公開の請求があった場合は応じることについては、今回も同様でございます。

事務局 本日の進行です。まず小学校で使用する教科書13種目の審議となります。各調査員が今年度新たに検定を通りました各者について、お手元の平塚地区、秦野地区、伊勢原地区、大磯地区、二宮地区の共同調査研究の結果を報告します。その後、報告についての質疑の時間をとり、終了した時点で、調査員は退室します。ただし、再質問の希望があれば再入室をしてもらうことも可能です。その後で、採択検討委員の皆様で教科書についての審議をお願いいたします。

次に、中学校教科用図書につきまして、令和2年度の結果をもとに、ご意見をいただきたいと思います。

前回は申しましたが、教科書の採択は教育委員会会議で行いますので、この採択検討委員会では1つに絞るということではなく、あくまでも審議内容を報告するという役割になりますので、審議内容につきましては、報告書にまとめて、教育委員会に提出します。そのために、いろいろなご意見を幅広く出していただくことが大切だと思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。事務局からの説明で何か質疑等がありますか。

委員 なし

委員長 それではこれから国語についての検討に入ります。

【国語】 **調査員の入室・報告**

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 SDGsの視点については、教育出版、光村図書に見受けられるように思いますが、他者はどうでしょうか。

調査員 東京書籍にも現代的な課題として、そういった話題が取り上げられています。教育出版については、一目でわかりやすいようになっているのが特徴だと思います。

委員 各者SDGsの視点をもって教科書を作っていると感じます。教材としていくつかの学年で取り上げているとなると、教育出版や光村図書ということになるのですか。

調査員 教材の視点で言うと、プラスチックのことやウミガメのことを取り上げていると思います。それ以外には、男女の割合や装丁の色合いなどにSDGs的な視点を各者意識して作られているのかなと思います。

委員 東京書籍では、点字表があったと思いますが他の教科書にも、あるのでしょうか。

調査員 教育出版でも取り上げられております。様々な立場の方に立って生活や物事を考えるような教材になっているかと思います。

委員 東京書籍は、新出漢字が出てきた時に欄外に読み仮名まですべて書いてあるということが特徴的でしたが、その点はどうですか。

調査員 東京書籍については、事細かに新出漢字を取り上げているといった特徴があるかと思います。他の教科書でいうと、例えば光村図書でいうと、他の文字と比べて新出漢字が少し大きくなっていてわかりやすくなっています。それぞれの特徴があるのでどちらを取るのかということかかと思ひます。

委員 学習の進め方がどの教科書にもあると思うが、実際に使うときの扱いやすさという視点では、何か特徴はありますか。

調査員 視点をどこに置くかによって変わってくると思ひます。「先生や子どもが教科書を見ながら学習を進めていく」という視点では、東京書籍は学習活動が一連の流れとして示されているので学び方を見出しやすいのかなと思ひます。秦野市が掲げている「『教える』から『学へ』」という観点から見ると、光村図書だけが「問いをもとう」というものがあり、子どもたちが課題意識をもって学んでいくように組み立てられているのかなと思ひます。教育出版は、子どもたちに対する柔らかい言葉の表現を使いながら、見通しをもって学習に取り組めるようなつくりになっていると感じます。

委員 どの教科書も二次元コードがあり、そこから資料等が見られるようになっていると思ひますが、何か特徴はありますか。

調査員 東京書籍はワークシート的なものが網羅されています。光村図書や教育出版は、音声教材や説明文を書いた著者のインタビュー等の資料や情報を扱っています。いずれも授業者がそれをどう活かすかが大切になってくる

かと思えます。

委員 各者とも読書の紹介がたくさんされている印象をもちました。東京書籍では図書館の活用について取り上げられていますが、他者はどのような取り扱いでしょうか。

調査員 はい。同じように本を活用する場面があり、そういった施設が紹介されています。

委員 3者が取り上げている読み物では、何か傾向はありますか。

調査員 3者とも、平和教育に関する教材は入っています。光村図書は文学の楽しさや国語の楽しさについて、教材文を通して伝えていこうとしているかと思えます。例えば4年生「友情のかべ新聞」では、謎解き要素を加えるなど、新しい挑戦をしています。東京書籍では、現代を生きる人たちのメッセージといった、より現実的なアプローチがされていると感じました。

調査員退室 以後、審議

委員 どの教科書も工夫をされていますし、よい教科書だなと思いました。あとは、どこを重視するかによるのではないのでしょうか。ICTについては、二次元コードからコンテンツの内容を見るといっただけでなく、活用の方法を学んで次に生かすといったことや、自分で考えるといったことも重視したいところだと感じました。

委員 東京書籍は学習の流れが丁寧に毎単元書かれているなと感じました。これは、学習をしやすくだろうなという印象です。光村図書は、考えることについて「問いをもつ」といった表現でちりばめられており、子どもたちが考えて学習を進めるようなつくりになっていると感じました。

委員 東京書籍は先生方にとっては、教えやすいといった面があると思いますが、今話題になった「考える」といった面から見ると少し、弱いかなという気がします。読み方は、自分で調べていくことも必要なのかなと。

委員 教育出版は全学年が上下巻に分かれていますよね。これは、重さを配慮しているのかなと思うのですが。他者は高学年になると一冊になるのも違いがありますね

委員 6年生の教科書を見ると、東京書籍は最近の話題を多く取り入れているなという感じがしました。光村図書はオールマイティーにというか、最近の話題も入れつつ、文学的なものも入れていると個人的には思いました。情報量については、増えているし、昔に比べると教科書も重くなっているなあというところですよ。

委員長 それでは、国語の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【書写】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 東京書籍の左ききの持ち方は何年生にありますか。

調査員 1年生2年生に大きく出ています。教育出版と光村図書も、大きくはありませんが写真が載っています。また、東京書籍と光村図書は、二次元コードを読み込むとその先の動画で左手の持ち方が紹介されていました。

委員 どの教科書も扱っているということですか。

調査員 はい。特に東京書籍は、写真が大きくて見やすいという特徴があるということです。また、上から見た写真で掲載されているのも東京書籍だけでした。他者は横からの写真で掲載されています。

委員 本当ですね。書き方のオノマトペについても各者扱っていますか。

調査員 はい。各者で表現の違いはありますがオノマトペで説明しています。

委員 今のオノマトペですが、確かに東京書籍と教育出版は文字と筆の後のような表現で、光村図書はネコ等のイラストを使用しながら表現していて違いがありますね。

委員 光村図書は1年生の「しよしゃすたーとぶっく」や3年生の「毛筆スター

トブック」等を見て、かなり力を入れているなど感じたのですが他者はどうでしょうか。

調査員 はい。スタートブックという名前ではありませんが、東京書籍、教育出版ともに1年生と3年生で硬筆と毛筆の学び初めの指導を扱っています。扱っているページ数は、光村図書が一番多かったです。

委員 内容は同じでも、ボリュームが違うということですね。

委員 国語科との連携という面は、どうでしょうか。

調査員 3者とも国語科の内容と連携しています。また、他教科との連携についても3者とも見られました。国語科との連携に限定して見ると、光村図書が一番連携している印象を受けました。

委員 その面で考えると、例えば光村図書の書写と他者の国語の教科書を組み合わせるといよりは、光村図書の書写と国語の教科書の方が扱いやすいということでしょうか。

調査員 その方が、扱いはしやすいと思います。

委員 筆順について、教育出版は常に意識していると思うのですが他者はどうでしょうか。

調査員 3者の比較研究は行っていないので詳しくはお答えできませんが、筆順の学習は国語科でもしっかり学習をしているといったところです。

調査員退室 以後、審議

委員 東京書籍は常に左利きも意識した教科書のつくりになっていて、他者には見られない特徴だなと感じました。

委員 左利きのことは、二次元コードだけでなく、教科書の中で扱われている方が指導はしやすいですね。実際に授業をするうえで、教科書、書写ノート、筆箱、そこにタブレットを開くとなると物理的に机の上がいっぱいになってしまう。この状態でタブレットを見ながらの学習は厳しいのではないのでしょうか。

委員 左利きの話がでましたが、男女の扱いについても各者考えているなど思いました。東京書籍については、大きな写真でも学年が変わると男子と女子が変わっている等、配慮があると感じました。

委員 国語と書写が同じ会社の方が、現場の先生方は指導しやすいというのは、実際にあるのでしょうか。

委員 特別それを意識して指導をしているといったことはないと思いますが。

委員 印象みたいになってしまいますが、意識したつくりになっているものとそうでないものがあるようには感じました。

委員 例えば光村図書であれば国語の教科書と揃っていた方が指導しやすいでしょうね。他の教科書は、そこまでではないような感じがします。

委員長 それでは、書写の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【社会】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 日本文教出版のシールについてですが、実際に授業で扱うといった面では、どうでしょうか。

調査員 授業中に適宜使っていくというのは、時間の関係上難しいかもしれませんが。ですがシールがあることで、子どもたちの意識を高めることには繋がるかなと思います。

委員 3年生の内容で、教育出版は神奈川県横浜市のしゅうまい工場やこまつな農家を扱っていまよね。東京書籍では福岡市のいちごと明太子、日本文教出版では、姫路市のかまぼことれんこんでした。子どもたちが学習をする上で、身近な素材を扱っているのと普段知らないような素材を扱っているのでは、どちらの方がよいのでしょうか。

調査員 個人的な意見ですけれども、知らないところを勉強するのも魅力的ですが、身近な神奈川県を扱っていると「行ったことあるよ。」ですとか「興味があるから行ってみような。」等、子どもたちの興味関心が湧きやすいとは思いますが。

委員 教育出版は、3年生では、かなり神奈川県を扱っていますね。

調査員 はい。

委員 神奈川県が行った、教科書の調査研究結果資料を見ても、教育出版は神奈川県の内容が多いですね。

委員 社会科は大きく分けると3年生で市、4年生で県、5年生で日本全国、6年生で公民や歴史という時代を越えた学習といったように広がっていく。そういった面からみると、3年生で自分と同じ県の内容を扱っているというのは、とても大きなポイントかなと自分は思うのですが。

調査員 調査員でもそれは話題になりました。

委員 教育出版では、6年生の教科書では、「移住を体験できる施設」ということで秦野市が紹介されていますね。

調査員 はい。欄外に写真で紹介されています。

委員長 それでは、地図に移りたいと思います。

調査員の報告

委員長 それでは、質疑をお願いします。

委員 地図帳は3年生から6年生まで使うことになりましたが、地図の違いなどどうでしょうか。

調査員 東京書籍は、3年生から日本地図の細かい所を載せています。帝国書院は、3年生の初めの方は情報を厳選した地図を載せていて、途中から地図の情報量が増えていくような構成になっています。

委員 地図帳なので、まずは地図の見やすさが一番大事になってくると思っていて、個人的には帝国書院の地図の方が見やすいと感じているのですが、地図の見やすさという点はどうですか。

調査員 東京書籍の地図帳はイラストが多い点の特徴で、子どもにとって親しみやすい地図になっていると感じました。地図の見やすさという点で考えると、帝国書院の地図は情報が整理されていて、地図の読み方を学習する3年生には見やすいと、個人的には思いました。授業で使う分には、どちらの地図帳も使いやすいと思います。

委員 帝国書院は全体的に文字が多く、東京書籍はイラストを含めた情報量が多いのかなと。この量は、小学生にとって適切な量となっているのでしょうか。中学生でも使えそうな地図帳だと感じましたがいかがですか。

調査員 地図帳は、社会科の授業の内容に合わせて使うことが多いです。全ての子どもが全部の内容をとというようなことではありませんが、詳しく内容が載っていると興味をもったり、学びを深めたりできる子どもがいるかなと思います。

調査員退室 以後、審議

委員長 それでは、社会についてはいかがでしょうか。

委員 各者、「つかむ」「調べる」「まとめる」というような流れは大体同じのかなと。東京書籍には「生かす」、日本文教出版は追及して「ほり下げる」というようなつくりになっているなど感じました。

委員 2年生まで社会科の学習はなくて、身近なところを見て学習をしていますよね。そこから秦野市の学習をして、神奈川県での学習をしていくのであれば、教科書についても身近なところから学んで欲しいなと思いました。

委員 一方で、同じ神奈川県でも横浜市なので、身近ではないこともあるのかなと思いました。秦野市は、市の内容に合わせた副読本を発行しているので、3年生は、まずそれを活用しながら身近な学習をしていくのかなと思います。あと、別の視点になりますが、教育出版はICTを活用した教育活動が掲載されているのでこれからの学習に合っているのかなと個人的には思い

ました。

委員 私も、教育出版を見た時にタブレット端末があることを踏まえた学習になっているなど感じました。秦野市は一人一台端末が整備されていますので、子どもたちの現状には合っていると思いました。

委員 日本文教出版のシールですが、子どもたちが「これは、どれに当てはまるのかな。」と考えるきっかけになって主体的に学べるのかなと思いました。ただ、大人が作った表現のSDGsなので、例えば「貧困をなくそう」等を3年生には理解できるのかな、難しいかなという点で気になりました。

委員長 地図はいかがですか。

委員 3年生から使用し始めるので、易しい地図から始めていく帝国書院のつくりがよいと思いました。段階的に使える地図帳は、先生にとっても子どもたちにとっても、学びやすいのではないかという感想です。

委員 地図帳なので、付加価値よりもまずは地図の見やすさが一番大事だと思っています。その点で、個人的には帝国書院の地図の方が見やすいという感じます。

委員長 東京書籍は、やはり情報量が多いのかなと。中学生でも使っていけそうな印象を受けました。情報量の多さは、指導する先生方が内容を絞って使用していくということになっていくのでしょうか。

委員 授業で地図帳を全部使うということは、なかなか難しいと思います。

委員 これだけで授業をするのではないということで考えると、やはりどの学年でもわかりやすいことやシンプルさ、使いやすいツールであることを重要視したいと感じました。

委員長 それでは、社会および地図の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【算数】 調査員の入室・報告

- 委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。
- 委員 「今日的な課題」についてですが、各者で取り上げているのでしょうか。
- 調査員 はい。どの教科書でも取り扱っています。
- 委員 教育出版の「めあて」をあえて示さないというような構成についてですが、これは子どもたちに授業の中で気づかせるというような視点だと思うのですが、他は「めあて」があって学習していくような構成ですか。
- 調査員 「めあて」と「まとめ」がしっかりと示されていると感じたのは、東京書籍、学校図書、日本文教出版です。大日本図書は「めあて」は示されていますが、まとめは自分たちでしてというような構成になっています。教育出版は、「めあて」ではなく、「？」マークで課題となっていくような部分が示されているのですが、毎時間あるわけではありません。啓林館は「めあて」は毎時間あるのですが、「まとめ」は毎時間あるわけではありません。まとめに繋がるような大事な部分には花のマークがついています。
- 委員 二次元コードがどの教科書にも掲載されているのですが、二次元コードだけの教科書と、内容について少し触れている教科書がありました。やはり内容について、触れている方が使いやすいものなのでしょうか。
- 調査員 その点について深く調査研究ができていないのですが、二次元コードを読み込むと一つのデジタルコンテンツに繋がる教科書と、読み込むと一覧といういくつかのコンテンツに繋がる教科書がありました。一言触れている方が、そのコンテンツが用意されているかがわかるようにはなっていないという印象です。

調査員退室 以後、審議

- 委員長 それでは、算数について協議していきたいと思いますが、いかがでしょうか。
- 委員 教育出版の「めあて」を示さない構成は、先生に教えてもらうというよりは、子どもたちに気づかせていくという感じがします。

委員 東京書籍ですけれども、全てではないのですが単元の最初のページに考え方が載っていないのがよいと思いました。これだと単元の初めから教科書がしっかり使えると思います。教科書によっては、単元の初めが見開きになっていて同じページに考え方の例が載ってしまっている場合があります。これだと、先生方が子どもたちに「考えさせる」授業をしたら、「教科書は閉じておいて。」という指示をします。そして、黒板で先生が書いてから子どもたちに説明をしてというような、「教える」から始まる授業になってしまうかなと思います。

委員長 教科書のつくりが、単元の初めから使いやすいということですかね。

委員 全ての授業で「考えさせる」授業というのは、難しいと思います。ですが、参考書的に使ってしまうのもどうかと個人的には思っています。考え方や解き方の流れが全て示されているというようだと、参考書的にになってしまうのではないかと思います。

委員 今回、小学校の算数の教科書を見て感じるのは、難しすぎないかなということ。例えば「小数」の学習をする時に「デシリットル」が単位で出てくると、なかなか生活に馴染みのない単位なので「デシリットルって何。」から始まってしまう。「小数」の導入で「デシリットル」が出てこないのは、教育出版だけでした。他にも導入から計算が難しくなるような例題がない方がよいと思うので、しっかりと吟味しないといけませんよね。

委員 算数の授業がわかる子のペースで進んでしまうと、わからない子が取り残されてしまいます。最近の教科書はわかりやすくできていて、例えば学校図書を見ると最初に「ねらい」が書いてあって、「こういう視点で見てくださいね。」ということが伝わります。そして、問題を解いて進めていき、最後には、「こういうことでしたよね。」というような「まとめ」がある流れはよいと思います。わからない子には、いきなり問題で最後にまとめられてもわからないと思います。

委員長 私も同感です。好きな子は、どんどん進められると思いますが、わからない子は「なんで」と思いながら進んでしまいますよね。

委員 教科書の最後に出ている一年間のまとめのページですが、これが子どもたちにとっては、大変ですよ。日本文教出版と大日本図書、東京書籍は「やらなくてもいい」というようなことが書いてありますが、実は大切な一言だ

と思います。もちろん、扱いは先生方に任されているのですが、保護者の方によっては、「やっている」「やっていない」という違いに敏感な方もいらっしゃると思います。

委員長 それでは、算数の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【理科】 **調査員の入室・報告**

委員長 それでは、ただ今の報告を受けて、質問等はいかがでしょう。

委員 索引がある教科書とない教科書がありますが、これは授業で使う場合には、どうでしょうか。

調査員 私自身は、授業をする時に索引に立ち返ってということはあまりありませんが、索引があると子どもには、便利かもしれません。先生方も、索引のここを見てごらんというように、示すこともできると思います。

委員 実験器具の操作方法等について、巻末に掲載している教科書と実際にページに掲載している教科書があります。大体が巻末にあるようですが、こちらは巻末についていると使いづらいといったことはありますか。

調査員 実験をする際にまずは巻末を見て、それから実験をするページに戻ってくるという使い方が定着すれば、使いづらいということはないと思います。ページを行ったり来たりする手間はありますので、そのことをどうか捉えるかだと思います。

委員 教育出版では、裏表紙が全て理科の安全の手引きのようになっています。これは、やはり必要でしょうか。あった方がよいということは、わかるのですが。

調査員 同様のものが教科書の中に設けられている教科書と裏表紙にある教科書があると思います。こういった内容自体は必要で、どこに掲載されているかの問題だけだと思います。

委員 二次元コードの中で、デジタルコンテンツがありますよね。理科の場合は、実際に実験ができない場合や実物を用意できない場合があって、そこをデジタルコンテンツでフォローされているといいと思うのですが、印象含めてそこはどうでしょうか。

調査員 二次元コードの内容を全て詳しく研究したわけではないのですが、二次元コードを読み込んだ際に、直接その実験が見られる教科書もあれば、読み込むと単元全体のページに繋がってそこから見たいものを選ぶといった教科書もあります。実際に子どもが実験をしている様子で示していたのは東京書籍、啓林館だったと記憶しています。大日本図書は、実際に二酸化炭素を作っている映像がありました。実際に子どもが実験でやることはありませんが、こうした内容も紹介されているという一例です。

調査員退室 以後、審議

委員長 理科について、いかがでしょうか。報告を見る限り、各者ほぼ同じような構成になっているかなと思いますが。

委員 学校図書ですけれども、裏表紙にSDGsとの関連が書いてありますね。他教科になりますが、総合的な学習の時間でSDGsを切り口に取り組んでいる実践もありますし、そうした視点で見ると関連を示しているのは、使いやすいかなという印象は受けました。

委員 せっかくSDGsを載せているなら、実際のページにも載せてあると子どもにとってはイメージしやすいと思いました。普段の授業でやっていることがSDGsと関連しているということは、そのページにないと繋がりにくい気がします。

委員 単元にもSDGs標記があるとわかりやすいということですね。

委員 教育出版は、例えば問題に対して観察をして結論が出るといった構成になっている印象です。大日本図書と東京書籍だと、予想をして計画を立て、実験の様子から考えよう、考えてみようという構成になっていて、はじめに結論ありきではなく、子どもたちにイメージをさせながら学習をしていく流れがよいなと思いました。あと東京書籍と大日本図書は判が大きくて見やすいなと思いました。

委員 A4判というのは、使いやすいのでしょうかね。

委員 教科書の大きさが同じ方が扱いは、しやすいですよ。大きさがバラバラだとランドセルや机の中には入れにくいので。

委員長 それでは、理科の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【生活】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 教育出版についての報告の中で、LGBTsへの配慮ということがありましたが、具体的にどのような配慮でしょうか。

調査員 例えば、イラストや写真の扱いですが、外国籍の子や車いすの子など、様々な子どもたちが教科書の中に登場するようになっています。

委員 その視点で言うと、どの教科書も外国籍や車いすの子の写真や絵が掲載されているので、配慮はされているのかなと個人的には感じました。質問ですが、これについては、絵の方がよいとか写真の方がよいとか、そういった違いはあるのでしょうか。

委員 調査研究を進める中で、気になった点ではあります。あくまで印象ですが、光村図書は写真で掲載されているなど感じました。また、教科書によって単元や伝えたい内容に合わせて使い分けられているというか、例えば詳しく扱いたい内容や子どもに気づかせたい場面では、見開きページのイラストで掲載している場面などがありました。

委員 光村図書ですが、上巻に取り外しができる「ひろがるせいかつじてん」という別冊が付いています。これは、取り外せた方が使いやすいのか、取り外してしまうと無くしてしまう等の理由で使いにくいのか、どうでしょうか。

調査員 個人的には、取り外せた方が外で活動する時に持ち運びがしやすいので使いやすいと思います。

委員 どの教科書も観察日記でまとめをする活動を入れているのですが、出版社によって取り扱い方が異なっていました。例えば、いつも同じ子の日記の教科書と何人かの日記の教科書、日記を比較するようなものもあれば、連名で書いた日記が載っているものもありました。これについては、何か意図があるのでしょうか。

調査員 具体的な例が載っていた方が子どもにとっては、イメージしやすく学習に生かしやすいとは思いますが。

委員 生活は低学年が使用する教科書になるので、見た目の印象や挿絵、キャラクター等の影響も大きいと思うのですが、その辺のことについては、どうでしょうか。

調査員 光村図書は、絵本のような構成が特徴的で、調査員の中で印象的だという話になりました。あとは、イラストではないのですが、写真の大きさや見やすさは、重要だなと個人的には感じました。

委員長 光村図書は、欄外に「保護者の皆様へ」という記載がありますが、他の教科書についてはいかがでしょうか。

調査員 他の教科書についても保護者へ向けた記載があります。ただ、光村図書は、他に比べて多い掲載されている印象です。

委員 光村図書と東京書籍は、他者と比べると保護者に向けたお願いや「このように子どもたちが育ってほしいから」といったようなことが詳しく説明されている印象を受けました。

委員長 なるほど。違いがありますね

調査員退室 以後、審議

委員長 生活の審議に入っていきたいと思います。内容は多岐にわたっており、本当に色々な工夫がされていると思うのですが、いかがでしょうか。

委員 教科書によって ICT の取り上げ方に差がある印象です。秦野市としてはタブレット端末を活用していく方向なので、発達段階に配慮する必要はあり

ますが、意識して入れていく方がいいと思います。

委員 それで言うと、啓林館は二次元コードを読み取った先で、「デジタルたんけんブック」の使い方のページがあって、その後の使い方や約束を説明しています。あと、低学年は手も小さいですし、教科書の大きさが小さいは、いいなと思いました。

委員 個人的には、イラストや写真のバランスは半々くらいがいいのかなと思います。写真が多すぎると虫が苦手な子にはリアルすぎて気持ち悪いかもしれないし、そこはイラストでカバーできるのかなと感じました。

委員 関連してですが、写真とイラストのバランスを考えている教科書と写真を全面的に出している教科書があって、私もバランスを取っている教科書の方がいいと感じました。

委員長 生活で学んだことが3年生以降の他教科での学びにも繋がっていくと思うのですがそういう視点ではどうでしょうか。

委員 身の回りの生活の中で気づいたり、確かめたりする中でわかっていくという内容かなと思います。探検したことは、やがて社会へと繋がっていくでしょうし、生き物や植物を見ていたことは、ちょっと専門的になっていき理科へと繋がっていく、そういう流れの中で学んでいくと思います。

委員長 それでは、生活の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【音楽】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員長 英語の歌についてですが、どちらの教科書にも入っていますか。

調査員 教育出版は全学年に、教育芸術社は中学年高学年に入っています。

委員長 違いがありますね。

委員 教育出版の方で、「さんぽ」の歌が全学年に入っていて、手話が取り上げられているのですが、教育芸術社でも手話は取り扱っていますか。

調査員 手話の取り扱いはなかったと記憶しています。

委員 二次元コードを読み取ると、教育出版は作者の話や楽器の扱い方等が取り上げられていました。教育芸術社は、音楽そのものが聴けるようになっていました。これらの使いやすさについてはどうでしょうか。

調査員 教育出版は、例えば1年生で「ゾウはどのように動くかな。」のような動きの例を紹介しているので、授業で子どもに例示することができると思います。教芸術社ですが、ほとんどの曲にデジタルコンテンツとして音楽がついていました。おそらくキーボードで演奏されていると思うのですが、授業でどのように活用できるか考えると、個人的には難しいと感じました。

委員 今お話のあった動画についてですが、先生方は実際に授業で使われるでしょうか。

調査員 そうですね、あったら使うと思います。

調査員退室 以後、審議

委員長 それでは、音楽について審議を始めます。扱っている曲やデジタルコンテンツのことで違いがあるようですがいかがでしょうか。

委員 デジタルコンテンツのことですが、教育出版で取り扱われている作者の話であったり楽器の演奏の仕方であったりといった内容は、学習を深めていくといった意味で価値があると感じました。内容も広く取り扱っているので使いやすいのではないのでしょうか。

委員 教育芸術社は6年生の教科書で表紙を開くと秦野市出身の指揮者を大きく取り上げていますね。

委員長 確かに見開きで扱っていますね。教育出版の取り扱いはどうでしょうか。

委員 教育出版も6年生の教科書の中に写真で掲載されていますが、教育芸術

社の方が本人の話やプロフィールが紹介されていて扱いは大きいですね。

委員 曲の扱いについては、結構同じ曲を掲載しているのですね。

委員 共通教材については、どちらの教科書にも入っています。それ以外の曲も、両方の教科書に入っている曲もありますね。

委員長 音楽の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【図画工作】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 デジタルコンテンツについての使いやすさについて2者の違いはありますか。

調査員 2者で多少の操作の違いはありますが、使いやすさや使いにくさに繋がるような違いはないと感じました。

委員長 ふりかえりシートがタブレットでも書き込めるという報告がありました。実際にふりかえりシートを授業で活用することは多くありますか。

調査員 私の勤務校では、作品カードや鑑賞カードの中に、ふりかえり欄を設けてふりかえりを行っています。鑑賞とふりかえりが同じ時間でできるようにつくりです。

委員長 なるほど。使いやすくなっているということですね。

調査員 はい。

委員長 道具の使い方については、どうでしょうか。

調査員 どちらの教科書にもイラストや写真を使いながら道具の使い方について記載されています。

委員 開隆堂は、3・4年生下の教科書に紙やすりの番手が詳しく説明されているようですが、日本文教出版はどうでしょうか。

調査員 申し訳ありません。その点については、調査研究を進めていません。

委員 日本文教出版は、5・6年生下の教科書で説明されていますね。開隆堂の方が詳しく説明されているようです。

調査員退室 以後、審議

委員長 図画工作について、いかがでしょうか。

委員 どちらの教科書も学習の視点やねらいについてキャラクターやイラストで示しているのがよいと思いました。また、どちらの教科書も見やすく工夫されているなど感じました。

委員 非常に楽しい雰囲気が出ていますよね。日本文教出版の方が文字の情報量が多いかなという印象があります。開隆堂は、写真が大きくて見やすかったです。

委員 どちらも3・4年生下の教科書で版画の学習を入れていますよね。両者であきらかに違う点として、開隆堂は版の下に「すべり止め」を敷く記載があり、日本文教出版は巻末で「作業版」を使うような記載をしています。実際には、どうなのでしょう。

委員 学校によって異なる気がします。作業版がなかったり、あっても数が十分になかったりすることも影響しているのかもしれないね。

委員 どちらも安全面を満たしているのであれば問題ないと思います。小学校では、彫刻刀を購入した時にすべり止めシートが付いてきているので、それを結構使用している気がします。

委員長 中学校などでは、作業版を使用することが多いです。力が入ってもずれることがないですから。少し彫る程度であれば、すべり止めシートも使用しますが、力を入れて作業をする場合には作業版を使用していますね。

委員 作品を完成した後のことが、どちらの教科書にも掲載されているのがよいなと思いました。これは日本文教出版ですけれども、作って終わりではなくて活用の仕方についての視点があると感じました。こういったことも今後大切になってくると思います。

委員長 他、よろしいでしょうか。では、図画工作の審議は以上とします。

【家庭】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 両者を見比べた時に、あまり違いを見つけられなかったのですが、調査員から見て、どのような違いがあると感じたか教えていただけますか。

調査員 全体的な印象としてですが、東京書籍は、内容が精査されているというか、ページがすっきりとした構成になっていると感じました。開隆堂は、教科書の中に書き込むような部分が東京書籍と比較すると多いという印象です。

委員 調理や裁縫など実習をする場面が多いので、安全面が大切になってくるかと思います。個人的な視点で構わないのでその辺についてはどうでしょうか。違いがあればお願いします。

調査員 両者とも、実際の動画を見られるという点、動きが見られるという点では同じだと思います。掲載されている写真の大きさについては、単元によっても異なるので、一概にどちらの方がということとは言えないという印象です。動画と写真を併せて指導をしていけば、両者に違いはないと思います。開隆堂は、巻末で実物大の作業写真が掲載されているのでわかりやすいですし、安全指導にも繋がるのではないかと思います。

委員 どちらの教科書も、キャリア教育に関わる学習としてインタビューがありますけれども、東京書籍は二次元コードを読み取ると「プロに聞く」という動画が見られます。これは、小学生にわかるような内容になっていますか。

調査員 申し訳ありません。デジタルコンテンツの調査研究について十分にしておらず、キャリア教育に関する動画は確認しておりません。

委員 調理をする場合、時間の流れというのがあると思います。個人的には、開隆堂は時間の流れがわかりやすいと感じたのですが、その辺についてはどうでしょうか。両者とも問題なく活動できますか。

調査員 開隆堂の方が、情報量は多いと思います。ただ、どちらも項目に沿って必要な情報は網羅されているので、どちらも問題なく学習を進められると思います。

調査員退室 以後、審議

委員長 それでは、家庭について、いかがでしょうか。

委員 どちらの教科書も包丁や針と糸の扱い方について、右利きと左利きを掲載しているのは、大事なことだと思います。

委員 写真についてですが、東京書籍はじゃがいもの実物大の大きさが掲載されています。こちらの方が、やはり皮むきの様子がわかりやすいです。

委員 食材の扱いについて、どちらも巻末に掲載されていますね。じゃがいもの芽に毒があることにも触れていました。東京書籍は巻末、開隆堂は学習のページといった違いはありますが。

委員長 それでは、家庭の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【保健】 調査員の入室・報告

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 6者をざっと見比べてみたところ、それほどページ数は変わらず、内容についても大きくは変わらないと感じました。どの教科書も扱っている内容は同じということでしょうか。

調査員 はい、6者とも同じように単元で扱っています。ページ数、内容自体にも大きな違いはないと思います。

委員 スマートフォンやタブレット端末の使い方について、大修館と光文書院では扱われていると思いますが、他の教科書ではいかがでしょうか。

調査員 使い方というよりは、それが健康面に及ぼす影響として扱っていました。

委員 保健は年間の時間数的には多くないと思います。そう考えると効率的に使える教科書がよいと思うのですが、そういう点ではどうでしょうか。

調査員 どの教科書も情報は豊富にありますし、書き込むところがありますのでノートやワークシートがなくても学習できる構成になっています。その中で、調査研究をした印象を述べると、東京書籍と大修館は他者と比べて情報が豊富だと感じました。文教社は実生活が連想しやすいような写真が掲載されていました。光文書院は関心をもって保健の学習が始められるように、最初に健康に対する著名人のコラムを掲載しています。学研は学習したことがその後の生活や社会に生かしやすそうな構成になっていると感じました。

委員 大日本図書の「折りこみカード」については、どうでしょうか。

調査員 これから学ぶことを「折りこみカード」で隠して課題に取り組んでみるということは、単元を進めていく上で興味がわくかもしれません。あとは、それを使って学習を進めるか、使わずに学習を進めるかはクラスや学年の実態によって異なるのかなと思いました。

委員 新型コロナウイルス感染症について各者の取り扱いに違いはありますか。

調査員 各者5・6年の教科書で取り扱いがあり、ページ数と内容に多少違いがあります。ページ数を申し上げますと、東京書籍は1ページの約3分の2、大日本図書と光文書院は1ページ、大修館は約2ページ、文教社と学研は1ページの約3分の1といったところです。また、東京書籍と光文書院はデジタルコンテンツでも取り扱っていました。

調査員退室 以後、審議

委員長 それでは、保健について、いかがでしょうか。

委員 新型コロナウイルス感染症については、これだけ長い期間にわたって身近な問題として起きているので、今後もしっかりと議論ができる内容だとよいなと思います。それに関連して差別をなくそうであったり、飛沫であったりに触れていくこともよいですね。過ぎてしまうと風化してしまうところがあるので、そうならないためにも新型コロナウイルス感染症についてしっかりと触れている教科書が選ばれているとよいなと思っています。

委員長 不安や悩みの単元で、東京書籍の独自に調査している点と大修館の内閣府の資料を掲載している点が気になりました。他者はどうなのかなど。

委員 確かにそうですね。

委員長 それでは、保健の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【英語】 **調査員の入室・報告**

委員長 それでは、ただ今の報告について、質疑をお願いします。

委員 各者の設定時間についてですが、70時間設定が多い中で67時間や62時間と少なめになっている教科書もあります。これは、時間が少なくても問題なく網羅されているということでしょうか。

調査員 少ない設定をしている出版者の説明によりますと、先生が余裕をもって指導計画を設定できるようにしているとのことです。

委員長 二次元コードの先にあるデジタルコンテンツの内容はどうでしょうか。

調査員 全て確認いたしました。全者整っている訳ではありませんでした。次年度までには整っているだろうというところです。

委員長 デジタルコンテンツから出てくる音というか英語の発音としてどうなのでしょうか。

調査員 はい。完璧にネイティブな発音になっていると思います。

委員 では、それを子どもたちは確認して、発音がわかるということですね。

調査員 はい。

委員 全て整っていない中ですが、デジタルコンテンツとして使いやすいもの
使いにくいものというものはあるのでしょうか。個人的な意見で構いません
のでもしあれば、お聞かせください。

調査員 見ることができたコンテンツだけですが、各者本当に工夫されていると
感じました。個人的には、英語の音声と一緒に流れる字幕について、表示す
るかしないかを選択できるようなものがよいとは思いました。活動によっ
て、音声だけに集中させたい場合があると思うので、その方が先生方は使い
やすいと思います。

委員 教科書によっては、書くところが多くてノート使いもできるような教科
書がありました。それについてはどうでしょうか。

調査員 調査研究を進める中で、書く頻度が多くなったなという印象を受けまし
た。これは、各者共通しての感想です。教科書に書き込めるのは先生方に
とって子どもたちにとっても便利だと思います。

調査員退室 以後、審議

委員長 それでは、英語について、いかがでしょうか。

委員 教育出版ですが、教科書の後ろがノート代わりになっていて使いやすい
なと思いました。全者共通ですが別にノートを用意するよりは、実際に書き
ながら学習を進められるというのは便利だと思いました。

委員 動画については、聴くことに集中する意味でも字幕が出ない方がいいな
と思いました。

委員 字幕が出ない設定にできるものがよいですね。

委員 英語では学級の中でもお互いに自己紹介をしあうことがあります。実際
に子どもたちのインタビューを受ける機会が学校ではあるのですが、やは

りコミュニケーション能力を培っていく意味でも必要な活動ですよ。

委員 書く欄があるのはよいのですが、書かねばならないという捉えになってしまうと大変だと思います。

委員 内容にもよってきますよね。

委員 具体的には言えないのですが、絵や写真を見て英語と繋がるということが、小学校の英語では大事じゃないかと感じました。

委員 時間数ですが70時間ぴったりというよりは、余裕がある方がよいのかなと思いました。あまり、時間みっちり詰め込むのではなくて余裕を持った計画を立てられる方がよいと思います。

委員長 中学校とのつながりも大切ですよ。中学1年生の内容は、小学校の学習内容を把握して授業を考えないといけません。中学校の先生方も、小学校の学習内容をよく把握して指導をしていると思います。

委員長 英語の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

【道徳】 調査員の入室・報告

委員長 思考ツールが紹介されている教科書がありましたが違いはありますか。

調査員 はい。豊富に掲載されていたのは光村図書と光文書院でした。

委員長 子どもたちは、様々なことをやりながら覚えていくと思うのですが、思考ツールを提示されることで型にはまってしまうということはないでしょうか。

調査員 題材によっては、複数の道徳的価値があるものがあります。そういった場合は、思考ツールで考えが可視化されることによって子どもたちも操作しながら自分の考えを整理したり客観的に判断したりできるようには感じます。

委員 SNS のことが現在問題になることが多いですが、その扱いはどうでしょうか。

調査員 各者、情報モラルの学習として SNS について扱っています。

委員 若い先生方が増えていますが、どのような教科書が使いやすいということはあるのでしょうか。

調査員 個人的には発問の例示数が多い方が、どのような切り口で授業構築していくかを考えやすいのではないかと思います。発問数の多さだけが重要ではないのですが、経験の浅い先生方にとっては、例示が多くあった方が、参考になるのではないのでしょうか。

調査員退室 以後、審議

委員長 では、道徳について、いかがでしょうか。

委員 子どもたちがイメージしやすい内容を扱っている教科書がよいと思います。発信することが求められていて、それに慣れてきているのかなと思うので、改めて物語や身近な事例を通して、「自分だったら」と置き換えて学んで欲しいなと思いました。

委員 最近の話題がどの教科書にも散りばめられていましたよね。これは、自分に置き換えて考えるためには必要なことですね。

委員長 そうですね。自分に引きつけて考えられる題材だと、子どもは自然と真剣に考えますし、お互いに分かち合えるかなと思います。

委員 情報モラル等は難しい言葉だし、大人でも迷ってしまうことがありますよね。場合によっては、どっちも正論に聞こえてしまったりグレーゾーンが生まれてしまったりしますし。ある程度明確な線引きがある方が小学生には考えやすいのではないかなと思います。

委員 道徳的な価値についてですが、一つの題材の中にいくつか入り込んでいる場合がありますよね。なので、重点を置くところがあれば分かりやすい教科書の方がよいのではないかなと思います。

委員 学習したことを生活に返していくことが大切ではないかと思います。だとすると教材の豊富さが需要で、色々な選択肢があった方がよいのではないかと個人的には思います。

委員長 多いから全部やるのが大変ということではないですからね。その中から子どもたちにあったものを選んで指導していくわけですから。

委員長 それでは、道徳の審議は以上でよろしいでしょうか。

委員 はい。

委員長 これで小学校教科用図書のすべての種目について協議を終えました。この後の進行を事務局でお願いいたします。

事務局 長時間にわたり審議をしていただきありがとうございました。本日、皆様に話し合っていたいただいた内容、皆様のご意見を、事務局と採択検討委員長とで確認をさせていただきながら、「こういう点ではこの発行者がこういう特徴がある。」「この発行者はこういう話題になった」というような形の表記で、報告書にまとめさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。なお、できあがりしました報告書は、採択検討委員長名で教育委員長へ提出をいたしますので、併せてご了承をお願いいたします。

委員長 ただ今、事務局より報告書作成の手順について説明がありましたが、それでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし

委員長 それでは、意義のないものとして確認されましたので、よろしくお願いたします。

委員長 次に、中学校の教科用図書についてご意見を伺いたいと思います。令和2年度の調査の結果や、実際に学校で使っている中でのご意見をうかがいたいと思います。いかがでしょうか。

委員 特に中学校では、先生方で今の教科書で課題があって使いにくいという声は聞いていません。

- 委員 前回採択時との違いとして、ICT 環境あります。デジタルコンテンツの活用を含めると学習指導要領が変わる大きなタイミングでは考える必要があるかもしれませんが、現状は工夫しながらうまく使えています。
- 委員 学校現場の意見として、特段これはということはないと思います。
- 委員長 では皆さんの意見をまとめると、中学校の教科用図書につきましては「現在使用している教科用図書を継続することで問題はない。」ということでしょうか。
- 全委員 異議なし
- 委員長 異議なしと認めます。次に附則第9条本について、事務局から説明をお願いいたします。
- 事務局 附則第9条本ですが、他の教科用図書と大きく性格が異なるものであります。ここで説明させていただく教科書は、主に特別支援学校（養護学校）および特別支援学級（障害児学級）で学習をしている児童・生徒が使用するものであります。児童・生徒によっては、知的発達の遅れや、障害の状況によって、在籍する学年の教科書は、その児童・生徒の日頃の学習活動に沿わない場合があります。こうした、状況の児童・生徒に対して、特別に編集されたものや一般図書を提供し、その児童・生徒の状況に合わせた教科用図書の使用を認めるものです。手続的には、小中学校の特別支援学級の担任が保護者と話し合い、必要があれば、保護者の了解を得て、児童・生徒の実態と共に必要な図書を選定し教育委員会に書類で報告します。これを受けて、選定した図書が、本当にその児童・生徒の教科用図書としてふさわしいかどうか、教育委員会の指導主事が児童・生徒の実態を確認し、資料を作成いたします。この資料をもって、教育委員会会議で承認された場合、児童・生徒が来年度使用できる教科用図書に認定され、来年4月に供給されることとなります。
- 以上です。
- 委員長 説明ありがとうございました。さて、この9条本の採択についてご質問等ございませんか。
- 委員 なし

委員長 それでは、令和6年度に使用する附則第9条本については、今後、事務局が学校や保護者と連携をとる中で教育委員会議に提案していくことでご理解をお願いいたします。

最後に、協議のまとめをして本日みなさんで話し合っただけ決めたことを確認いたします。事務局、よろしくをお願いいたします。

事務局 協議結果を確認させていただきます。

小学校の教科用図書については、本日の協議内容から報告書を作成し、教育委員会会議に提出、報告すること

中学校の教科用図書については、令和2年度の資料などをもとに、現在使用している教科用図書を継続することで問題はないこと

附則9条本については、保護者の了解の上で特別支援学級の個々の児童・生徒の必要に合わせて選定し、指導主事の確認作業を経て、教育委員会会議に議案として提出すること

以上です。

委員長 よろしいでしょうか。

全委員 異議なし

委員長 それでは、今日の内容につきましては、採択検討委員長名で、報告書を作成し提出しますのでご承知おきください。

これで、協議のすべてを終了します。事務局よろしくお願ひします。

事務局 本日長時間にわたり、特に委員長におかれましては適切な進行をしていただきありがとうございました。委員の皆様におかれましても、熱心に協議いただき、多くのご意見をいただいたことに感謝申し上げます。委員の皆様がお持ちの文書や本日までの会議内容の全てが、情報公開の対象となる内容です。公開の請求があった場合、検討委員のお名前、調査員のお名前も含め、この検討委員会に関わる資料につきましては、採択が一段落する8月定例教育委員会会議開催日以降の公開となります。今日に至るまでに、多くの時間を教科書の調査研究に割いていただいたことに感謝いたします。

事務局 これをもちまして、令和5年度第2回秦野市教科用図書採択検討委員会を閉会させていただきます。お気をつけてお帰りください。